

2024年1月24日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ



SmartDB®、Sansanの「Bill One」と連携、 大企業の請求書関連業務のDXを加速

～基幹システム連携を一気通貫で実現し請求書の受領とインボイス対応、社内承認も～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび Sansan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長/CEO：寺田 親弘、以下 Sansan）が提供するインボイス管理サービス「Bill One」と、ドリーム・アーツの大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」がクラウド API 連携したことをお知らせします。両サービスを連携するサンプルプログラムを2024年1月より提供開始します。

2024年2月14日に連携の実現例をご紹介するセミナーを開催予定。請求書の受領から会計システムへの連携まで、全体プロセスの業務デジタル化の詳細をデモンストレーションを交えてご紹介します。

■インボイス対応を含む請求書関連業務の効率化が喫緊の課題に

2023年10月にはインボイス制度が開始され、2023年12月には電子帳簿保存法の宥恕措置が終了するなど請求書業務を取り巻く環境は転換期を迎えています。大企業では膨大な数の請求書を取り扱うため、請求書の受領やその前後に発生する関係部署への依頼・確認業務を含めた業務改善が急務に。その際、利用システムが連携されていないと業務分断が発生し、転記作業などの非効率な業務により確認漏れ・対応漏れが発生するリスクが生じます。

■SmartDB®と Bill One の連携で請求書対応プロセス全体のデジタル化を目指す

両サービスの連携で請求書関連の業務プロセス全体を一気通貫でデジタル化できます。SmartDB®で稟議申請・予算管理など請求書受領前の業務プロセスを実現。その後 Bill One 上で受領した請求書の情報は正確にデータ化され、適格請求書の要件を満たすかどうかを自動で判定します。請求書データはクラウド API 経由で自動的に SmartDB®へ連携。支払申請では稟議書などの関連情報を含めた確認をおこない、承認後は基幹システムに確定情報が連携されま

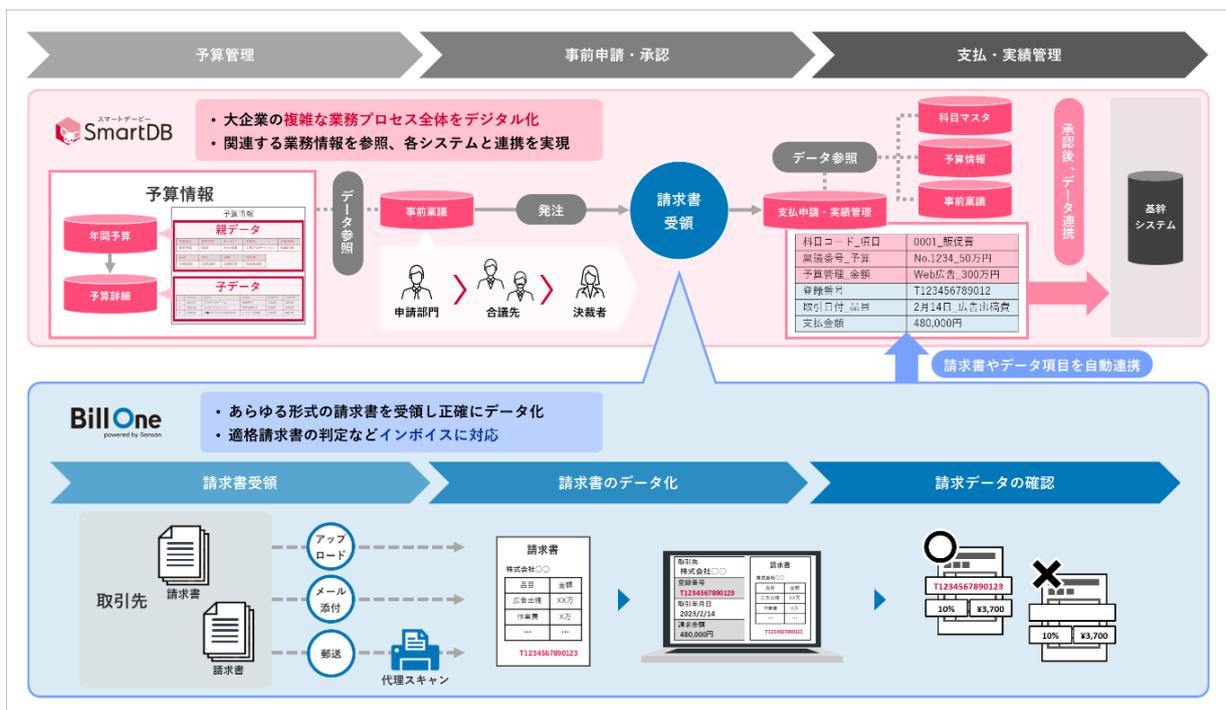
す。請求書に関連する前後の業務を含めたデジタル化で業務効率化が加速し、時代の流れに沿って柔軟に対応できる状態を確立します。

クラウド API 連携により、従来のシステム開発と比較して実現コストや実装後のメンテナンス工数を大幅に削減。両プロダクトはそれぞれの機能や仕様の変更に影響を受けず、極めて手軽に連携可能になります。

SmartDB®は現場主体で業務プロセスの完全デジタル化を実現できるワークフローと Web データベース機能を備えたノーコード開発プラットフォーム。大企業の業務デジタル化に必要なさまざまな機能を持つため、全社・部門横断の業務を対象に自律的かつ継続的なデジタル化を実現します。

Bill One はあらゆる形式の請求書をオンラインで受け取り、企業全体の請求書業務を加速するインボイス管理サービス。経理部門を含めた会社全体の請求書業務を効率化し、月次決算業務を加速することで企業経営における意思決定のスピードを向上させます。

【イメージ：SmartDB®とBill Oneの連携概要】



■SmartDB®×Bill One 連携の紹介セミナーを開催

ドリーム・アーツと Sansan によるオンラインセミナーを開催。両サービスや連携時のメリットを詳しくご紹介します。

【イベント概要】

名称	Bill One × SmartDB で実現！請求書関連業務をまるっとデジタル化 ～請求書受領、前後に発生する申請・承認プロセスを効率化する方法とは～
開催日時	2月14日（水） 11:00～12:00
定員	200名
主催企業	株式会社ドリーム・アーツ、Sansan 株式会社
開催方法	オンライン（Zoom）
参加費	無料
お申し込み	https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/event/se240214/

■利用条件

2024年1月より提供開始するサンプルプログラムのご利用には Bill One および **SmartDB®** をお申し込みいただく必要があります。詳しくはお問い合わせください。

ドリーム・アーツと Sansan は、今後も企業の業務生産性向上を目指しさらなるパートナーシップを育てまいります。

Bill One について <https://bill-one.com/>



Bill One は、Sansan 株式会社が提供するインボイス管理サービスです。郵送やメールといったさまざまな方法・形式で届く請求書をオンラインで一括受領し、素早く正確にデータ化。請求書をクラウド上で一元管理することで、アナログで非効率な請求書業務をデジタル化します。インボイス制度や電子帳簿保存法にも対応し、月次決算業務を効率化することで、企業経営における意思決定のスピードを加速します。



SmartDB®（スマートデービー）について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に利用中。サービ

ス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※ テクノ・システム・リサーチ「2022年 SaaS型ワークフロー市場メーカーシェア（従業員数1,000名以上）」より

クラウド API（Application Programming Interface）連携とは

「クラウド API 連携」は、クラウドサービス間の連携を極めて容易かつスピーディーに実現するクラウドサービス共通の手段です。各サービスが提供する連携機能の利用により、開発コストを大幅に削減できます。

業務効率化や生産性の向上を目的としたデジタル化には、対象範囲ごとに専用のクラウドサービスを活用することが主流となっています。しかし、各サービスが連携していないと業務分断が発生し、それに伴う無駄な転記作業や確認行為が発生。従来の手法による連携には、製品ごとに異なる仕様やプログラミング言語など専門知識が必須で、開発後の運用・保守に IT 技術者がかかりきりになるなどの課題背景がありました。

「クラウド API 連携」により複数のクラウドサービス同士の独立性は保証され、それぞれ個別に機能変更・拡張をおこなうことができます。これによりユーザーはそれぞれの最新機能をメンテナンスフリーで常に利用できるようになりました。この「クラウド API 連携」がもたらす高度な連携性はクラウドサービスの本質的な特長のひとつといえます。

Sansan 株式会社について <https://jp.sansan.com/>

「出会いからイノベーションを生み出す」をミッションとして掲げ、働き方を変える DX サービスを提供しています。主なサービスとして、営業 DX サービス「Sansan」や名刺アプリ「Eight」、インボイス管理サービス「Bill One」、契約データベース「Contract One」を国内外で提供しています。

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996年12月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド **SmartDB**®、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shopらん**®（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX**®（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2501 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2024 DreamArts Corporation.